

早稲田アカデミー	6年							
	算数							
学習内容	4回 容器と水量・変化とグラフ 5回 総合（予習シリーズ6年㊥ 第1回～第4回） 6回 速さ(1)							
家庭学習ポイント	5回「総合」をはさんで4回「容器と水量・変化とグラフ」、6回「速さ（1）」までが3月の学習範囲となります。4回「容器と水量・変化とグラフ」では、水そうを傾ける問題、タクシー料金のグラフ問題、水そうの向き（底面）を変える問題など、立体の応用発展、やや特殊なグラフの問題度を扱います。水そうを傾ける問題では柱体の切断と考える（水面で水そうを切断するという考え方）、水そうの向き（底面）を変える問題では、側面を底面と考えるなど、立体の問題でも独特の着眼点が必要な問題が多いですが、特に難関校受験を考えているお子さんには必須と言えるものですね。第6回「速さ（1）」も同様に、すべて既習単元、どこかで一度は見た可能性がある問題ではあるのですが、1回で扱う範囲（＝問題のバリエーション）が広く、抜けもれなく復習していくにはかなりの労力が必要です。3月下旬からは春期講習会に入り、こちらも文章題とグラフ、図形、数と規則、速さといった、1回で広い範囲を復習していく授業になります。							
課題の把握と解決策	チェック1	立体の「高さ平均」を使いこなしていますか？						チェック
	解決策	水そうを傾けた場合の深さはそれぞれの部分の深さの平均になりますね						□
	チェック2	水そうの向き（底面）を変える問題では、自分で底面を決めて考えられていますか？						チェック
	解決策	水の入った部分が「柱体」になるように底面を決めればいいですね						□
	チェック3	特殊なグラフの読み取りに対応できていますか？						チェック
	解決策	タクシー料金のグラフなど、やや特殊ですがよく入試にも出ますね						□
	チェック4	速さの問題では状況図とダイヤグラムを使いこなしていますか？						チェック
	解決策	どのような問題にどの図を使うか、自分なりに説明ができるといいですね						□
	チェック5	速さと比を使いこなしていますか？						チェック
	解決策	「同じ距離を進むとき、速さとかかる時間は逆比」は多用しますね						□
早稲田アカデミー	6年							
	国語							
学習内容	4回 説明文・論説文(2) 科学と文明 細部の文脈㉔―接続関係― 四字の熟語㉕ 5回 総合（予習シリーズ6年㊥ 第1回～第4回） 6回 随筆文(1) 日本と世界 イコールの関係㉕―抽象と具体― 和語㉖							
家庭学習ポイント	2月に引き続き、科学と文明をテーマに説明文・論説文の読解が1回、総合回をはさんで「日本と世界」をテーマに随筆文の読解を学習します。物語・小説が2回となっています。知識面は和語、四字熟語などです。文章の読み方がうまくつかめていないお子さんは、第1、3、6回に各種文章タイプのポイントが分かりやすく示されているので、今後も迷った場合に立ち戻ってみるなど、有効に活用できそうですね。予習シリーズの改訂によるテキストの変化は、そのままテストに反映される可能性があります。近年の入試傾向に合わせ、週テスト、組分けテストの記述問題も求められる文字数が多く、書き抜き、自分の言葉で表現などバリエーションも増えていきます。70～100字で記述する力をしっかり身に付けていきたいところですね。6年生の予習シリーズは、知識事項については解説などがなく、問題のみ掲載です。苦手な分野に関しては、自分で4年、5年のテキストに戻って復習する必要があります。							
課題の把握と解決策	。	論説文の読解では、事実と筆者の考えを読み分けていますか？						チェック
	解決策	論説文においては定番の読解法ですね						□
	チェック2	接続詞に注意しながら論説文を読んでいますか？						チェック
	解決策	「つまり」「ようするに」といった接続詞に注目して読んでいきましょう						□
	チェック3	長い記述の組み立てが効率的にできていますか？						チェック
	解決策	求められている要素をすべて含んでいるかをチェックしてから書き始めましょう						□
	チェック4	文種ごとに「読み方」が定着していますか？						チェック
	解決策	予習シリーズ6年上でほとんどの文種を復習します。確認していきましょう						□
	チェック5	一週間の学習サイクルができましたか？						チェック
	解決策	ひとまず春期講習前までで「振り返り」の機会を持つと良いでしょう						□

早稲田アカデミー	6年						
	理科						
学習内容	4回 水溶液 5回 総合（予習シリーズ6年㊤ 第1回～第4回） 6回 恒星・惑星						
家庭学習ポイント	3月は総合回を1回はさんで「水溶液」「恒星・惑星」をおさらいしていきます。総復習+発展内容の学習という形で、1回1回のボリュームがかなり厚くなっているカリキュラムに慣れてきているのでしょうか。第4回は「水溶液」についてすべて復習するという、これまで数回に分けて学んだ内容を1回の授業に盛り込んでいます。ざっくり「仕分け」しても「水溶液の判別」「溶解度計算」「中和」と、復習すべきことは膨大です。第6回「恒星・惑星」についても同様に「地球・太陽・月」以外の天体の事項をすべて扱う内容です。2月同様、苦手単元については5年生までのテキストで復習した上で臨むようにしましょう。実質5年生のときの2～3倍のスピード、7月上旬までにこれまで習ったすべての単元を復習するペースです。授業前の準備としては、①6年生上の次回単元の内容に目を通し、どれだけ学習するかを把握する②苦手、あるいは知識があやふやだという自覚がある単元は4年生・5年生のテキストで復習③今回の授業ではどの部分の力を重点的につけたいかを考える くらいができているとよいですね。						
課題の把握と解決策	チェック1	水溶液の定義を説明できますか？					チェック
	解決策	透明・濃さがどこも均一・時間がたってもとけているものが出てこない ですね					☐
	チェック2	中和計算をするときは、見やすく縦に並べて書いていますか？					チェック
	解決策	「ちょうど反応する組み合わせ」と「問題で与えられた組み合わせ」を上下に並べて比例計算です					☐
	チェック3	溶解度計算では「水温・水量・とける量」を書き出して整理していますか？					チェック
	解決策	こういった「ひと手間」を端折らずに書いて考えられているかが、6年後半の得点力を左右します					☐
	チェック4	天体の日周運動、年周運動について正しく理解していますか？					チェック
	解決策	日周＝一日一周＝24時間で360度、年周＝一年一周＝12ヶ月で360度回転ですね					☐
	チェック5	1回1回の授業で「どの部分の力を重点的につけたいか」を考えていますか？					チェック
	解決策	あらかじめテキストに目を通し、イメージした上で授業に臨みましょう					☐
早稲田アカデミー	6年						
	社会						
学習内容	4回 国会のはたらき 5回 総合（予習シリーズ6年㊤ 第1回～第4回） 6回 内閣と裁判所						
家庭学習ポイント	3月は2月の「日本国憲法」から続く全3回で「国会」総合回をはさみ「内閣と裁判所」といった単元を学びます。「現代史」2回のあと公民の学習に入ります。国会、内閣、裁判所などのはたらきについて、詳しく学んでいきます。キーワードとその意味をしっかりつなげて覚えなくてはなりません、 「議院内閣制」といった抽象的なキーワードも多く、また子どもにとってあまり身近には感じられない内容です。今まで以上に「言葉は知っているが、どこで使うかわからない」といった状態が生まれかねません。公民を学ぶにあたっては、特に普段から実際の日本社会やニュースに触れているお父さん、お母さんのフォローも有効です。小学生には慣れない分野ですが、ニュースなどにも目を向け、ひとつの言葉から関連知識を連想していく学習が有効です。また単なる一問一答ではなく、知識を文章で覚える習慣が持てると、様々な問い方に対応できるようになります。文章を見てひとつの用語を答えるのではなく、ひとつの言葉から文章で説明できる力を養うことが、つながりのある知識の構築に役立ちます。						
課題の把握と解決策	チェック1	三権分立の内容を正しく説明できますか？					チェック
	解決策	国会・内閣・裁判所が相互に監視、抑止するシステムを具体的に答えられるようにしておきましょう					☐
	チェック2	通常国会とは何か、説明できますか？					チェック
	解決策	毎年1月に招集される、予算を決める国会ですね					☐
	チェック3	国会と内閣の仕事の違いがわかっていますか？					チェック
	解決策	立法権・行政権という言葉の意味を正しく理解していれば大丈夫ですね					☐
	チェック4	三権分立について正しく説明できますか？					チェック
	解決策	国会・内閣・裁判所それぞれの牽制の仕組みと主権者である国民の権利を軸に説明しましょう					☐
	チェック5	ふだんからニュースなどに触れていますか？					チェック
	解決策	公民の学習だけでなく、入試の時事問題対策にも役立ちます。親子の話題も増えますね					☐